

■■ 令和元年 5月7日 (火) ■■

## ～ ゾウの姿に感激ー健康ウォーク運動～



令和元年度はじめての健康ウォーク運動が、連休明けの5月7日に実施されました。これは、栄東連合町内会女性部（村木紀子部長）が主催する健康づくりのイベントです。あいにく朝方は雨のため参加人数は43名でしたが、スタート時には、からっと晴れ上がってウォーキング日和になりました。9時30分に日の丸会館を出発し、地下鉄栄町駅から円山公園駅に移動。同駅から円山公園、北海道神宮を経て円山動物園というコースで新緑の中を和気あいあい、風景や会話を楽しみながら歩きました。

北海道神宮では、参加者皆さんが参拝し、記念撮影も。円山動物園では、それぞれグループに分かれて園内を回りましたが、何といたっても人気は3月にオープンした象舎です。ほとんどの方が像を見るのは久しぶりです。広い象舎の中で歩き回るゾウや、壁の穴から長い鼻を入れて上手に干す草を取り出して口に運ぶ姿に感動していました。昼食後、午後2時に動物園入口に集合して帰路につきましたが、この日は、楽しみながら知らず知らずに1万歩から1万5千歩を歩いたことに。6月は、17日に旭山公園で市内の眺望を楽しみます。お気軽にご参加ください（申込不要。当日、午前9時までに日の丸会館前に集合ください）。

■■ 令和元年 5月13日 (月) ■■

## ～ 子どもや高齢者の安全を願い、118名で街頭啓発～

「春の交通安全市民総ぐるみ運動」が5月11日からスタートし、5月20日まで実施されました。栄東地区では、5月13日、地下鉄栄町交差点で、栄東連合町内会、栄東地区交通安全運動推進委員会が中心になって、街頭啓発を実施しました。

晴天に恵まれたこの日、地区内の単位町内会、交通安全母の会、地元企業をはじめ総勢118名が参加して、道行く車のドライバーや歩行者の皆さんに、子どもと高齢者の安全の通行確保や高齢運転者の交通事故防止、自転車の安全利用などを呼びかけました。

今回は、栄東地区で東15丁屯田通の災害復旧担う工事会社の方々14名が地域貢献として積極的に街頭啓発に参加いただき、地下鉄栄町交差点を大勢の旗並みで埋め尽くしました。交通安全に対する地域の熱意や思いが、きっとドライバーや歩行者の皆さんの心に届いたことでしょう。



■■ 令和元年5月15日（水） ■■

## ～ 令和元年度定期総会、地区交流会を開催～

栄東連合町内会の30年度事業・収支決算を報告し、令和元年度の事業計画案、収支予算案を審議する定期総会が5月14日に開催されました。

会場の日の丸会館（東区北41条東14）大ホールには、同連合町内会役員22名と38単位町内会の代表91名（委任状提出者を含む）などが出席し、栄町団地親交会の古川要会長が議長を務めて審議を行いました。いずれも、異議はなく原案どおり可決されました。

総会終了後は、佐々木康之・東区長をはじめ遠田満憲・東消防署長など来賓14名も出席して恒例の地区交流会を盛大に開催しました。

なお総会では、永淵宏会長から連合町内会長表彰が10名の方々に、交流会では佐々木区長から市長表彰1名、東区長表彰5名にそれぞれ表彰状が授与され、日ごろのご尽力に感謝するとともに受賞をお祝いしました。



■■ 令和元年5月22日（水） ■■

## ～ ごみ減量化などの理解促進に衛生施設見学会～

栄東連合町内会衛生部（井野裕一部長）では、ごみの減量化やリサイクルの推進の重要性を住民一人ひとりに正しく理解いただくため、毎年、衛生施設の見学会を実施しています。

令和元年度は、地域住民35名が参加して5月22日に「札幌市民防災センター」「白石清掃工場」の見学を行いました。

同センターは、昨年9月の北海道胆振東部地震を経験したこともあり、一人ひとりが正しい防災知識を身に着けるため、衛生施設ではありませんが対象を広げて見学しました。地震体験コーナーでは、関東大震災級の震度7の揺れを体験し、地震の恐ろしさと防災知識の必要性を再認識しました。

また、「白石清掃工場」の見学では、皆さん工場の規模の大きさに圧倒されながら、同工場の職員のごみ処理に関する説明に、真剣な表情で耳を傾けていました。このように効率的、効果的にごみ処理できるのは、札幌市民が厳格にごみ分別をしていることが大きいと言われています。

参加者の多くは、町内会でごみ関係の担当をしている方々です。栄東連合町内会衛生部では、こうした方々と協力しながら、さらに地域のごみ問題解決に取り組んでまいります。

